



“転生”の秋終わる

文化祭表彰

合 唱	
中学最優秀賞	1 A
	3 B
高校最優秀賞	III E
演 劇	
中学アカデミー賞	M 3
特別賞	H I
グランプリ	M 3
展 示	
学年部門最優秀賞	H II
クラブ部門最優秀賞	地理部
優秀賞	保健部
	歴史部

去る九月二十二日、二十三、二十四日に第38回文化祭が行われた。今年は、準備段階で天候に悩まされたが、“転生”のテーマのもと、まずまずの成果を収めた。その様子をまとめてみた。

【準備】朝7時、赤色の字幕がTVにつく。「警報」今年になって2回朝から休校となり、準備期間の放課後も一日つづけた。準備期間が土壇場でつぶれるのは痛い。重い気持ちで足早に家路につく……これが混乱をきたしたのはいくまでもない。残り2日、作業時間8時まで延びた。みんな必死だった。まっ暗な廊下を「元町」へ走る姿が目についた。合唱も、ない時間を出して必死に練習。そんな中、初日が始まったのだが、展示は未完成の団体が多く、プログラム終了後に最後の追いこみをした。初日も、一時警報が出て一瞬ビヤリ。

第38回

文化祭

【合唱】中学の合唱は、中3が、4クラス中3クラスが入った。合唱も、ない時間を出して必死に練習。そんな中、初日が始まったのだが、展示は未完成の団体が多く、プログラム終了後に最後の追いこみをした。初日も、一時警報が出て一瞬ビヤリ。

【学年演劇】自由参加ということで、参加は4団体のみだった。全体的にレベルが高く、そんな中であって演技力の差で、中3がグランプリ、アカデミーと完全勝利を収めた。

【模擬店】23・24両日に中高の中学生で行われた。全体的に見て、例年とほとんど変わらず、客の入りは悪かったようだが、それは例年通りの出来だった。ただ、閉会式の後の諸注意は少し興奮している場を白けさせたようだ。閉会式の前にやっておいてもよかったのではないだろうか。

【その他】オーケストラの演奏は、実力通りで客の入りも多く、展示に一時閉古鳥が鳴いた。謡曲部は、少しマニア向きで客の入りはもう一つ。演劇部公演ESSも内容があつたが、

発行
洛星新聞局
(463) 3281 (代)
印刷/南片桐軽印刷

局員募集
希望者は
H1F 大森まで

【展示】“転生”のテーマの下、パネルを見ただけではなく、さらに一歩進んだ団体が多かった。また、堅いテーマで正攻法の団体もあり、仲々のものだった。そんな中、吊りパネル廃止にもかかわらず、またも最優秀をとった地理部の力には、脱帽といったところ。今年も警報で短期集中を余儀なくされたが、各団体ともよくまとまっておき、この力をもつてすれば、来年度はかなりのレベルアップが期待できそう。

【模範店】23・24両日に中高の中学生で行われた。全体的に見て、例年とほとんど変わらず、客の入りは悪かったようだが、それは例年通りの出来だった。ただ、閉会式の後の諸注意は少し興奮している場を白けさせたようだ。閉会式の前にやっておいてもよかったのではないだろうか。

【その他】オーケストラの演奏は、実力通りで客の入りも多く、展示に一時閉古鳥が鳴いた。謡曲部は、少しマニア向きで客の入りはもう一つ。演劇部公演ESSも内容があつたが、

【総括】今回のテーマ“転生”には、生まれ変わる、という意図がある。みんなあの2度目の準備期間中の警報で、生まれ変わったつもりで必死になって準備にかかれたのではないのか。この精神は、忘れずに残して欲しいと思う。その一方で、自由参加という考えで臨んだため、学年展示がいくつかできなかったし、記念講演もなかった。演劇

体育祭成績表

高 校	中 学
優勝 C 750点	優勝 C 779点
2位 B 735点	2位 A 669点
3位 A 727点	3位 B 656点
4位 D 635点	4位 D 614点
5位 F 614点	応援
6位 E 567点	優勝 F

文化祭も終わって、そろそろ期末考査が気になる。10月2日に、待ちに待った（そうでもない）人間的な（？）体育祭が行われた。朝いつより30分早く起きて窓の外を見ると、眠気も吹き飛ばすような快晴だった。その雲一つない青空の下で、中学1年から高校3年まで皆が元気よく入場行進。オケ部によるファンファーレが鳴り響く中で開会式が行われた。まず最初は応援合戦。練習不足のせいなのか、時々間違えている人も多かったが、熱意は満々だ。この数年、年を追うごとにど

体 育 祭

【総括】今回のテーマ“転生”には、生まれ変わる、という意図がある。みんなあの2度目の準備期間中の警報で、生まれ変わったつもりで必死になって準備にかかれたのではないのか。この精神は、忘れずに残して欲しいと思う。その一方で、自由参加という考えで臨んだため、学年展示がいくつかできなかったし、記念講演もなかった。演劇



グもあつて、大変な盛り上がりだった。特に、高校の梅転がしリレーは、日頃教壇の上でいかつい顔をして立っている先生が、どうしようもないヘマを目の前でするために、周囲は爆笑の渦に巻き込まれていた。満員の父兄席の方からも、ゴール前の激しいアッドヒートに、熱い声援（悲鳴？）が送られ、片手にビデオ、もう片手に汗あきの手タオルを持って我が子の勇姿に一生懸命応援するお母さん方も多数おられた。そして、熱戦の雰囲気はまださめきらない中、無事プログラムを終了、閉会式が行われた。優勝は、中高ともに、めでたくCクラスに決定した。

連載

第三回 「未来に向けて」 前校長 村田源次

衣
笠
 期末もすんで後期に入り、朝晩はかなり冷えこんできた。年の始めかからゴタゴタして、誰かの丸坊主姿を眺めたり急にさいふに入っている一円玉が増えたりしながら過ごしてきた88年、またの名を平成元年、そのまたの名を昭和64年という年は、終わろうとしている。
 ▼今年を振り返るに、ムダ遣いが多かった。試験の度に「心機一転」とノートを買い換え、100枚位紙がムダになった。▼今年も日本へ動物保護の為に禁止されている動物の皮のバックが運ばれてきた。中にはニセ物もあるが、日本人が種族絶滅を意識していないにしろそれを手助けしているのは事実だ。▼紙にしても動物の皮にしても自然破壊、種族絶滅につながるもので、遅かれ早かれそのツケを払わなければならないだろう。そうすると、時ですらう。

手にされないようになって
いるのかも知れない。▼紙
の再利用が叫ばれ始めてか

ら久しいが、最近は古紙の生産高も頭打ちになっている。その理由が、円高でパ

古紙は質も悪くて高くつくからだそうだ。いくら安くても質がいいからといっても

金の方にものをいわせて買
い漁り過ぎてはないだろう
か。埋め立て地にたまった
新品同様の紙が空しい。▼

その埋め立て地の近くで、
来年には巨額の投資の下で
「国際花と緑の博覧会」が
開かれる。複雑な気持であ



三田学園

師をお辞めになった時」という主旨の記事を残しておられる。そんな卒業生の三田学園における評判はというと、

衣笠



HII 北海道

研

M3 九州

3年ぶり
片道1時間半
空のフライト

雨のち晴の
九州横断



6月23日朝7時30分大阪空港集合。今年は飛行機での北海道行きだ。9時、落ちないだろうかとという心配をよそに離陸。エンジン全開。体にかかるGが気持ちいい。34期生研修旅行、いざ出発だ。



だが、25分位には集っていた。森住先生の送迎があり、団体旅行の定番ともいえる注意が、添乗員さんからあり、やそこそ新幹線、トランプ類であそびだした。昨日まで宿題をやっていたのか寝るものがあったり、色々な形で雨の中心西へと向かった。



【第一日】
朝起きると曇りだった。天気予報を見ると九州は雨のようだ。朝7時30分集合



と思いながらバスに乗る。宮川ICに着いて昼食。北海道で初めての食事だ。鍋物だったが紅ジャケが多い。うーん。さすがは北海道だと喜んでたくさん食べたが、もちろんこの時はまだ毎日食べさせられるはめになる。と誰にも知らない。



【第二日】
大浦教会でミサと講演。講演者の方には、いやな事



はふせておいて、雨も小降り。に。26聖人記念碑へ。神父さんの話を聞き博物館に入る。そして国際文化会館に行く。言葉もなくなる。ふせてはいけないことだが



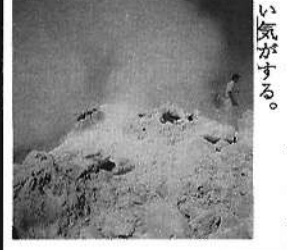
ここにう一つ「ボッケ」と呼ばれるものがあつた。アイヌ語で「熱湯」の意味。わざわざ書くほどのものではなかったが、なぜ



【第三日】
湯元のホテルへ。今日からほとんどバス。朝、散歩がてらに地獄巡りへ。臭くていていられない



【第四日】
今日は本当にきれいに晴れあがる。九重連山を見ながら、昨日の露天風呂について聞かれる。数名、真夜中、川に入ったようすが



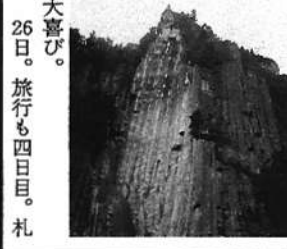
【第五日】
船の中での徹夜組は多かった。神戸についてから大阪まではじつたつたが、大阪に着く。これで全行程おしまい。各自家に帰る。さて、今年の研修旅行の感想を少々書きのこしておこう。



【第六日】
【第七日】
【第八日】
【第九日】
【第十日】



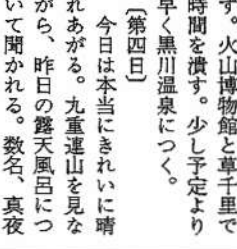
【第十一日】
【第十二日】
【第十三日】
【第十四日】
【第十五日】



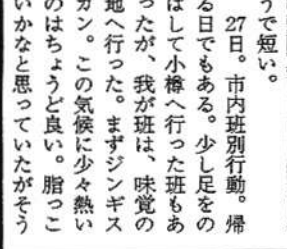
【第十六日】
【第十七日】
【第十八日】
【第十九日】
【第二十日】



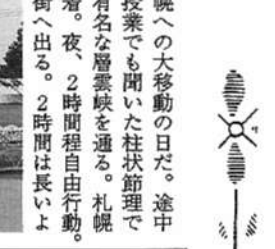
【第二十一日】
【第二十二日】
【第二十三日】
【第二十四日】
【第二十五日】



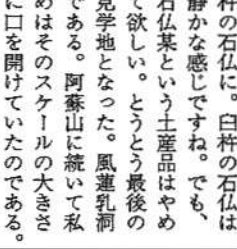
【第二十六日】
【第二十七日】
【第二十八日】
【第二十九日】
【第三十日】



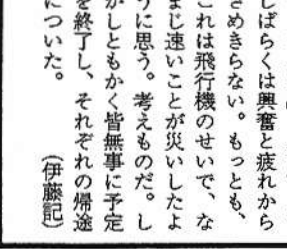
【第三十一日】
【第三十二日】
【第三十三日】
【第三十四日】
【第三十五日】



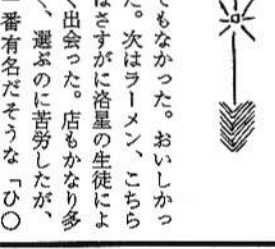
【第三十六日】
【第三十七日】
【第三十八日】
【第三十九日】
【第四十日】



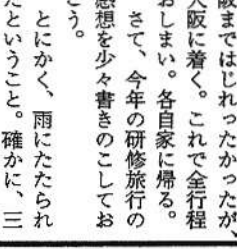
【第四十一日】
【第四十二日】
【第四十三日】
【第四十四日】
【第四十五日】



【第四十六日】
【第四十七日】
【第四十八日】
【第四十九日】
【第五十日】



【第五十一日】
【第五十二日】
【第五十三日】
【第五十四日】
【第五十五日】



【第五十六日】
【第五十七日】
【第五十八日】
【第五十九日】
【第六十日】

梶谷君国体二冠！

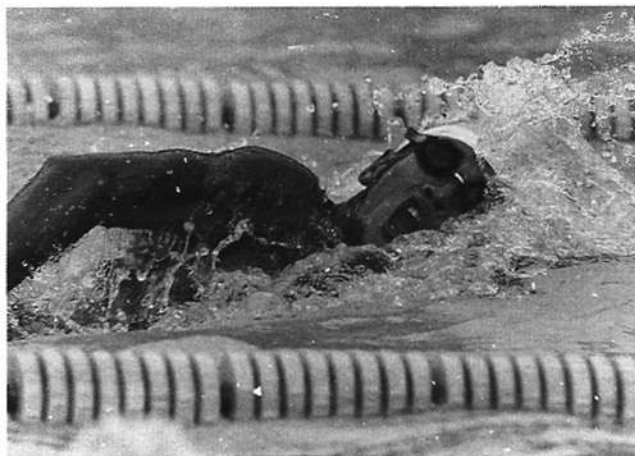
前期クラブ活動報告

●水泳部	
府下大会	200m個人メドレー 優勝 杉本 淳 26-12 400m個人メドレー 優勝 杉本 淳 5-14 400mリレー 3位 杉本・村山・千田・吉岡 4-13-2
秋季市大会(新人戦)	800m自由形 2位 吉岡 浩輔 10-4-5 400m自由形 優勝 岡崎 康敬 5-3-3 400mメドレーリレー 3位 総合 4位 5-3-3
〔高 校〕	
春季大会	200m平泳 優勝 千代智宏 2-34-9 総合 4位
府下大会	200m自由形 優勝 梶谷智志 1-56-67 (大会新・京都高校新) 400m自由形 優勝 梶谷智志 4-8-70 (大会新・京都高校新) 200m平泳 優勝 千代智宏 2-33-23 200mバタフライ 3位 藤田 貴之 2-15-27 400mメドレー 3位 4-22-88 400mリレー 優勝 梶谷・岡崎・古川・千代 3-49-94 100m自由形ラップタイム(53-87・梶谷智志)は大会新・京都高校新 800mリレー 3位 近畿大会 優勝 200m自由形 優勝 梶谷智志 1-57-00 (大会新)

400m自由形 2位 梶谷智志 4-9-98 200m平泳 5位 千代智宏 2-29-14 全国高校総体(インターハイ) 200m自由形 2位 梶谷智志 1-55-69 (京都高校新) 400m自由形 7位 梶谷智志 4-7-2 (京都高校新) 国民体育大会 少年A 200m平泳 9位 千代智宏 2-28-2 少年B 100m自由形 優勝 梶谷智志 53-80 (京都高校新) 400m自由形 優勝 梶谷智志 4-7-4 (大会新) 200m平泳 優勝 千代智宏 2-30-9 (大会新) 400m個人メドレー 3位 千代智宏 5-0-8 400mメドレーリレー 3位 800mリレー 2位 古川・藤田・千代・梶谷 8-29-3 (大会新) 総合 2位	▽四回戦 洛星4-1山山城 (投手)有村・吉川 ▽準々決勝 洛星2-5平安 (投手)有村・吉川 (三塁打)有村 秋季大会 ▽一次リーグ戦 洛星18-1農芸 (5回コールド) (投手)北川隆・吉川・沢田 (HR)北川隆 (三塁打)大林 (二塁打)吉川 洛星0-6北嵯峨 洛星1-4平安 洛星8-0西京商 (7回コールド) (投手)北川隆・吉川 (HR)加藤寛・川勝
--	---

▽一回戦 洛星2-1田辺 ▽二回戦 洛星4-13京都西 (7回コールド) 全国高等学校野球選手権大会京都大会 ▽一回戦 洛星4-0洛東 ▽二回戦 洛星9-1南八幡 (7回コールド)	〔高 校〕 春季大会 ▽一回戦 洛星2-1田辺 ▽二回戦 洛星4-13京都西 (7回コールド) 全国高等学校野球選手権大会京都大会 ▽一回戦 洛星4-0洛東 ▽二回戦 洛星9-1南八幡 (7回コールド)
--	---

〔高 校〕 京都府高校総体 5月20・21日 1年生の部 (準優勝) 石渡2-1上杉 富樫0-2橋本 (決勝) 石渡0-2橋本 2年生の部 (準優勝) 元田1-2森 坂本2-0中村(木津) (決勝) 坂本2-0森	バドミントン 京都府高校総体 5月20・21日 1年生の部 (準優勝) 石渡2-1上杉 富樫0-2橋本 (決勝) 石渡0-2橋本 2年生の部 (準優勝) 元田1-2森 坂本2-0中村(木津) (決勝) 坂本2-0森
--	---



梶谷君の力泳

〔中 学〕 春季大会 団体戦 (決勝) 洛星1-2蜂ヶ岡 シングル (準決勝) 西村2-0堤(蜂ヶ岡) 渡部0-2仙石(西陵) (決勝) 西村2-0仙石(西陵) ダブルス (準々決勝) 後藤 1-2 飯田(蜂ヶ岡) 山本 1-2 杉山(蜂ヶ岡) 中森 1-2 中村(西陵) 弓削 1-2 真野 京都府選手権大会 団体戦 (準決勝) 洛星2-1蜂ヶ岡 (決勝) 洛星2-1西陵 シングル (準々決勝) 西村2-0藤本(西賀茂) 渡部1-2坂本(同志社) 山本賢0-2仙石(西陵) 弓削0-2堤(蜂ヶ岡) (決勝) 西村2-0仙石	〔高 校〕 京都府高校総体 5月20・21日 1年生の部 (準優勝) 石渡2-1上杉 富樫0-2橋本 (決勝) 石渡0-2橋本 2年生の部 (準優勝) 元田1-2森 坂本2-0中村(木津) (決勝) 坂本2-0森
---	--

〔中 学〕 春季大会 団体戦 (決勝) 洛星1-2蜂ヶ岡 シングル (準決勝) 西村2-0堤(蜂ヶ岡) 渡部0-2仙石(西陵) (決勝) 西村2-0仙石(西陵) ダブルス (準々決勝) 後藤 1-2 飯田(蜂ヶ岡) 山本 1-2 杉山(蜂ヶ岡) 中森 1-2 中村(西陵) 弓削 1-2 真野 京都府選手権大会 団体戦 (準決勝) 洛星2-1蜂ヶ岡 (決勝) 洛星2-1西陵 シングル (準々決勝) 西村2-0藤本(西賀茂) 渡部1-2坂本(同志社) 山本賢0-2仙石(西陵) 弓削0-2堤(蜂ヶ岡) (決勝) 西村2-0仙石	〔高 校〕 京都府高校総体 5月20・21日 1年生の部 (準優勝) 石渡2-1上杉 富樫0-2橋本 (決勝) 石渡0-2橋本 2年生の部 (準優勝) 元田1-2森 坂本2-0中村(木津) (決勝) 坂本2-0森
---	--

〔高 校〕 春季大会 団体戦 (決勝) 洛星1-2蜂ヶ岡 シングル (準決勝) 西村2-0堤(蜂ヶ岡) 渡部0-2仙石(西陵) (決勝) 西村2-0仙石(西陵) ダブルス (準々決勝) 後藤 1-2 飯田(蜂ヶ岡) 山本 1-2 杉山(蜂ヶ岡) 中森 1-2 中村(西陵) 弓削 1-2 真野 京都府選手権大会 団体戦 (準決勝) 洛星2-1蜂ヶ岡 (決勝) 洛星2-1西陵 シングル (準々決勝) 西村2-0藤本(西賀茂) 渡部1-2坂本(同志社) 山本賢0-2仙石(西陵) 弓削0-2堤(蜂ヶ岡) (決勝) 西村2-0仙石	〔高 校〕 春季大会 団体戦 (決勝) 洛星1-2蜂ヶ岡 シングル (準決勝) 西村2-0堤(蜂ヶ岡) 渡部0-2仙石(西陵) (決勝) 西村2-0仙石(西陵) ダブルス (準々決勝) 後藤 1-2 飯田(蜂ヶ岡) 山本 1-2 杉山(蜂ヶ岡) 中森 1-2 中村(西陵) 弓削 1-2 真野 京都府選手権大会 団体戦 (準決勝) 洛星2-1蜂ヶ岡 (決勝) 洛星2-1西陵 シングル (準々決勝) 西村2-0藤本(西賀茂) 渡部1-2坂本(同志社) 山本賢0-2仙石(西陵) 弓削0-2堤(蜂ヶ岡) (決勝) 西村2-0仙石
---	---

〔高 校〕 春季大会 団体戦 (決勝) 洛星1-2蜂ヶ岡 シングル (準決勝) 西村2-0堤(蜂ヶ岡) 渡部0-2仙石(西陵) (決勝) 西村2-0仙石(西陵) ダブルス (準々決勝) 後藤 1-2 飯田(蜂ヶ岡) 山本 1-2 杉山(蜂ヶ岡) 中森 1-2 中村(西陵) 弓削 1-2 真野 京都府選手権大会 団体戦 (準決勝) 洛星2-1蜂ヶ岡 (決勝) 洛星2-1西陵 シングル (準々決勝) 西村2-0藤本(西賀茂) 渡部1-2坂本(同志社) 山本賢0-2仙石(西陵) 弓削0-2堤(蜂ヶ岡) (決勝) 西村2-0仙石	〔高 校〕 春季大会 団体戦 (決勝) 洛星1-2蜂ヶ岡 シングル (準決勝) 西村2-0堤(蜂ヶ岡) 渡部0-2仙石(西陵) (決勝) 西村2-0仙石(西陵) ダブルス (準々決勝) 後藤 1-2 飯田(蜂ヶ岡) 山本 1-2 杉山(蜂ヶ岡) 中森 1-2 中村(西陵) 弓削 1-2 真野 京都府選手権大会 団体戦 (準決勝) 洛星2-1蜂ヶ岡 (決勝) 洛星2-1西陵 シングル (準々決勝) 西村2-0藤本(西賀茂) 渡部1-2坂本(同志社) 山本賢0-2仙石(西陵) 弓削0-2堤(蜂ヶ岡) (決勝) 西村2-0仙石
---	---

街の人100人にききました

Response	Percentage
悪い (Bad)	30%
良い (Good)	70%

に對する期待が大きいといふことであらう。

南行きは人数が多い上に203、205、15、204と4つの系統が同じ所に止まるので、西院と同じように混乱が起きるようだ。

もう一つ、東行きの50系統停留所の近くに、オーム社という本屋があつて、立ち読みをした後、本をほっぽらかしてバスに乗ることがある。バスが来たので早く行きたくなるのはわかるが、読んだ本は元に戻すのが常識。

地区別アンケート結果

三 条 十 出 町 柳

(市バス51・特51・15・203)

ラバディ校長先生に聞く
“なに!?! 22人は多いね!”

「22人は多いのですか? 私としては、多すぎる。100%なくなるように私は努力したいです。22%のせいでは全体が悪くみえる、それが私は残念です。」
「洛星にしては悪い」が目に付きますが、実際の洛星は、世間は洛星を頭のいい学校として見ています。ですから、小さいことは大きくみえる。それは、当たり前です。だから、洛星の生徒、リーダーになるためにきちんとする。期待は高いですね。でもそれは逆にうれしですね。ただ高慢になって欲しくない。すわりたがる、というのは、また席が空いたのに、友達と後ろの方に固まるのもあります。やっぱり、おじいさんであれば、ゆるめるのは当然。それとね、昔は皆、座らず立って下さいというところまで悪くなるので、乗客の流れが生徒のせいじゃなくて、

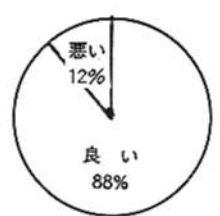
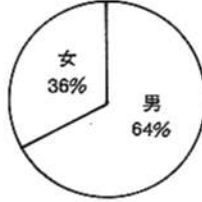
バスはのせいのと思う点はある。バスは、バスの停止位置が違ったり、前から乗せたりで不可抵抗な面もある。確かに、並ぶことはできない。例えば10番と20番、停留所が違えば並ぶことはできません。けれど、できない。だからめっちゃくちゃなるのは当然。だから、下に番号打って、線引けばそれで自然に並ぶでしょう。バスまた値上げ、不満がいっぱいあります。そうね、カナダの倍ですよ。もうすぐ200円になるかも知れない。でも、どんなことがあっても常に礼儀正しくなくてはね。

「うるさい、かばんの放置、これも多いですね、しゃべるにしてもね、気をつけなければいけない、迷惑になっているのを意識しなくてはダメですね。」
最後に、校長としてこの結果を見ての感想をお願いします。
「うーん、ですからこれから、私だけじゃなく先生たちと、ちょっとだけでも有利になることがあれば、それをやるべきだ。1人だけでも乱れたら、それはがまんできない。できれば生徒部にも頼んでポスターを作ってアピールしてもらってほしいと思ってます。これで、2年後に15%、10%、5%、そしてゼロになつてくれると私は、うれしいですね。これからも、LET'S BE GENTLEMAN、やるべきはそれに近い方針でやっていきたいですね。どうもありがとうございます。」

(悪いのはココダ!)

- 1. カバン放置.....11人
- 2. 冷房中に窓を開ける.....1人
- 3. 乗り降りの悪さ.....5人
- 4. うるさい.....2人

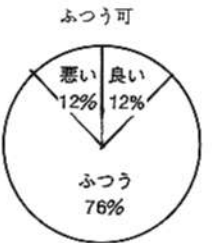
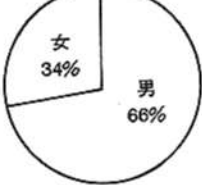
調査人数比



(逆に良い所)

- 1. 中には席を譲る人もいる.. 2人
- 2. 乗車中は静かでいい.....6人

悪いと答えた人の比



三条、出町地区

最近、鴨東線が開通して三条の混雑も前ほどではなくなったので、開通する前は三条、開通後は出町柳でアンケートをとった。
ここでは、悪いと答えた人は12%で今回の調査地点では一番いい数字だった。しかし、ここは「ふつうです」という答えを認めたため、二択を迫ると、この数字も変わってくるかもしれない。「ふつうです」という答えは76%と、良いと悪いを圧倒している。大半の人は、洛星の生徒に関心をもちすぎない位、いそがしく過ごしているのだから、無関心層の厚さには驚いた。
悪いというのをみてみると、「荷物の放置」が一番多いのは大きな問題であろう。三条から白梅町までは確かに長い、出町柳から白梅町までは大したことはないだろう。荷物を置くにしても、周りをよくみて、邪魔にならないように置くべきだ。
また、もう一つ目立った点としては、「うるさい」という人が2人いた反面、乗車中は静かという人もおりと多かったことである。とてもいいことだが、それだけにうるさいという人がいるのが惜しまれる。
その他に、「冷房中なのに窓をあける」というのもあった。夏のバスは冷房中でも暑いことがあつて外の吹きこんでくる風が涼しく感じるだろうが、周りの人がかえって暑く感じることもある。気を付けよう。
最後にこのアンケートにご協力頂いた皆様、忙しい時間に唐突な質問に答えていただき、ありがとうございます。

ANGLE 32
⑭ 天文部

【天文部】
今から三十年以上前、洛星が京都に誕生してまもなく、三期が四期生あたりというところです。昔、一台の望遠鏡でがんばったこと。望遠鏡で見た反射望遠鏡が台風で、筒内に水が一杯たまり、だめになったことなど、いろいろの事があったようです。私(熊谷)が顧問を引き受けたのは、今から十五年前のことでした。中・高合わせても六名ぐらいでした。望遠鏡のない頃は、ガイガーカウンターを使って宇宙線(大げさすぎます)の観測をし、そのカウント数と黒点の変化などを結びつけようとして、黒点を観測することとを始めた。この太陽黒点の観測は現在の活動の重要な部分の一つとなつていきました。夜は流星(望遠鏡がいらないので)の観測というのが定着し始めました。流星観測も、現在の活動の一部となつていきました。
二年、三年と過ぎてゆくに従って部員も増えはじめ、大学入試の前日も空を眺め、親がヤキモキしたという者も出ました(彼は合格しました)。クラブの性格も、よい意味での先輩後輩のわくもははずれて、自由な雰囲気になり、一年一回の合宿を始めようになりまし。現在、高校生は十名、中学生は二十名の部員がいます。現在の活動は、毎日の太陽観測と観測の整理、平均月一回の夜観、年一回(夏休み中)の合宿、春休みなど有志による観測旅行など行っています。本年の夏期

合宿は乗鞍で行いました。高度約二八〇〇m、真夏でしたが残雪があり気温は六〜一〇度くらいで、明け方はもっと冷え込みました。この合宿は観測が目的ではありませんが、お互いの親睦も大きな目的としています。いろいろな事情で普段活動には出て来れない人も、転部などで新しく入部した人もなごやかに参加しました。毎年行われる京都私学の研究発表会にも参加し、昨年度は十一年間にわたつて積みあげた太陽黒点について発表し、トロフィーももらって帰りました。この観測は次の十一年間に向つて後輩に受けつがれてゆきます。観測、整理などは本当に地味な仕事です。でも、世の中ではその地味な仕事が大変役立つことが多いのです。

それぞれの思い出を持つて部員達は卒業してゆきます。しかしそれで終るのではないのです。毎年、年末に天文部同窓会を開いてい。ます。大学生、研究者、銀行、会社の中央研究所に勤める者、医者など、勿論結婚し家庭を持つている者も多くいます。すでに社会人となっている者が、大学生にいろいろ話を教えています。



夏の忘れもの、洛星名物スクイズの後



洛星の田村某子

前ちゃん杯
アームレスリング
スタッフ
編集長 H I F 大森崇利
局長 H I A 伊藤志郎
局員 M 3 A 高橋正樹
局員 M 3 C 丹羽 明
顧問 国語科久保先生
英語科藤田先生

すなつぱ写真

町には一流ブランド品というものがあふれている。一流とはいわずとも、ブランド品と呼ばれるものがあふれている。これは金満ニッポンと一応呼ばれている昨今の現象かもしれない。フランスはバリのブランド品店では右を見ても左を見ても日本人だとか。この金余り現象にのつて学校にも私学ブランド志向が強まって、今まで以上に

話のくずかご

「洛星」が目ざされているというところである。我々は、「洛星」というブランドを常に付けている。これは、公然たる事実である。そして、一応、一流といふのを世間からいっていただいている。しかし、セルフサービスと書かれている食堂において、自分の食べた物の始末をせず友達が付けた紙で、世間はそんな目では見ない。「洛星」という一集合体で見ると、最低でも、日常生活に開く、先程あげた例のように、直していきいたいものだ。
某先生が、「日没の勢いで」などといっておられるこの「洛星」に、夢と希望をもつて、小六と中三の人々がこの春に受験にのだから。
文化祭だけでなく、日常生活も「転生」したいものだが如何だろうか。

【小栗帽子】
初仕事が研修旅行。いきなり重要なものを任されて、大変でした。他に書いておきたことはたくさんあったけど、実際に文章にしてみると、本音がなかなか出なかったりして、本当に四苦八苦でした。次に書く時は少しも上手に、また速く仕上げが様に頑張りたいとおもいます。

【編集後記】
皆さん、お久しぶりです。やつと新聞を出すことができました。次はいつ出せるのか見当がつかないんですが、まあ、一人優秀な新人が入ってきたので何とかなるでしょう。あつそれから、5面の写真手伝ってくれた写真部のW君、どうもね。
(あゝ疲れた後継者)